

建築一般構造（A 専門科目）

=====

科目名：

建築一般構造（英文科目名：Introduction of Building Construction）

2 単位 建築学科 2 年 通年 講義

担当教官：

川上勝弥（居室：建築学科棟 1 階）Email:kawakatu@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

建物の構造的仕組み、部材名称および部材のおさまりについて学ぶ。特に、部材名称およびその定義については、正確に覚える。また、次年時以降に建築を学ぶための基礎固めをする。

達成目標：

- 1．建物の部位・部材の名称を覚える。
- 2．各種構造形式の原理、特徴および構造等について学ぶ。
- 3．構造部材の力学的特性や耐震性能等、構造計画の基礎知識を学ぶ。

教科書：

建築構造用教材，社団法人 日本建築学会編

参考書：

特に指定せず、適宜資料を配付する。

学習方法：

予習-教科書を中心として授業を進めるので、予め専門用語に関する予備知識があると良い。
授業-建物の仕組みや部材名称、部材の果たす役割等について説明する。このときに、建築構造用教材が必要になる。また、過去の地震被害等を教訓に、建物の性能等について解説する。

復習-部材名称やその定義並びに部材のおさまり等は、確実に理解するために再度確認しておくが良い。

学習保証時間：

100 分[時間 / 週] × 15[週 / 前期] + 100 分[時間 / 週] × 15[週 / 後期] = 50.0 時間 / 年

キーワード：

各種構造、部材名称、おさまり、空間の性能、構造計画、建物災害

授業内容：

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. ガイダンス | 1 週 |
| 2. 構造形式 | 1 週 |
| 3. 建築空間の構成要素と性能 | 3 週 |
| 4. 建物と力 | 2 週 |
| 5. 中間試験 | 1 週 |
| 6. 地盤、基礎および地業 | 2 週 |
| 7. 木質構造 | 5 週 |
| 前期末試験 | |
| 8. 鉄筋コンクリート構造 | 3 週 |
| 9. 鉄骨構造 | 2 週 |
| 10. メーソンリー構造 | 1 週 |

- 11.その他の構造（１）・・・・・・・ 1 週
- 12.中間試験・・・・・・・ 1 週
- 13.その他の構造（２）・・・・・・・ 1 週
- 14.構造計画とは・・・・・・・ 2 週
- 15.建物の耐久性・・・・・・・ 2 週
- 16.建物と災害・・・・・・・ 2 週

後期末試験

授業方法：

教科書を基に説明を行う

カリキュラム中の位置づけ：

建築一般構造は、建物の仕組みや部材名称とを学ぶもので、建築学全カリキュラムの基礎となる。特に、鉄筋コンクリート構造、鋼構造および木構造においては、建築一般構造の内容を理解しておく必要がある。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築概論（１年通年）

この科目と同時に学ぶ関連科目

特になし

この科目の後に学ぶ関連科目

建築材料（３年前期）鉄筋コンクリート構造（４年通年）鋼構造（４年通年）木構造（５年通年）

評価方法：

それぞれ２回の中間試験および定期試験の結果、授業中の演習および長期休業中の課題の提出状況・評価、並びに出席状況により評価する。

連絡事項：

特になし

学生へのメッセージ：

建築部材の名称や専門用語をできるだけ覚えよう。また、各部材の構成を立体的にイメージできるようにトレーニングしましょう。

=====